

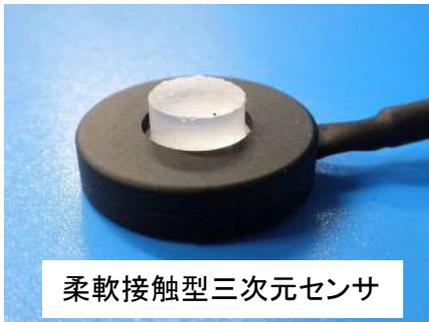
ひとわざ(一技)名: 三次元センサ

1. 概要(200字目安)

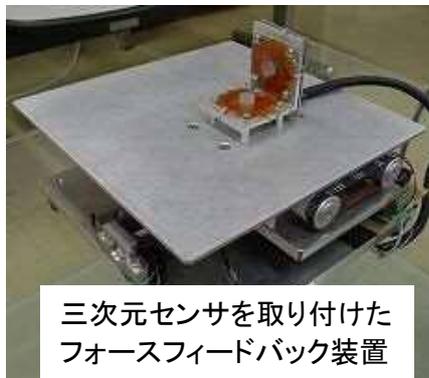
遠隔操作を行う際に、作用側の荷重と操作がわの荷重を逐一把握するフォースフィードバックに必要な圧力センサを用い、垂直荷重のみならず、せん断荷重(水平荷重)も同時に感じる三次元センサを提供する技術である。

従来は金属材料からなるセンサやそれにゴム状の弾性体を設置し、垂直荷重のみの測定を行うセンサしかなく、三軸測定荷重センサが存在していない。本技術では、センサ自体の構造が単純で安価であり、研究開発を進めてきた垂直・水平荷重を測定できる三次元センサを配置し、柔軟で且つ垂直荷重とせん断荷重を把握しながら操作できる新

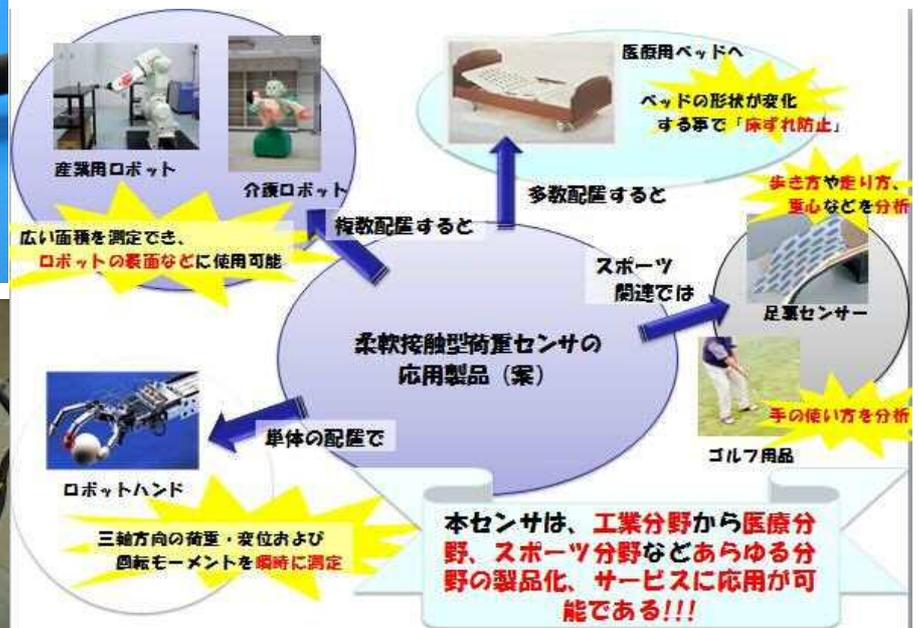
写真・図(要点説明)



柔軟接触型三次元センサ



三次元センサを取り付けた
フォースフィードバック装置



2. 企業概況

会社名	信州大学	代表者名	山沢 清人
		窓口担当	産学官連携推進本部
事業内容	研究開発・地域貢献	URL	http://www.shinshu-u.ac.jp/
主要製品			
住所	〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1		
電話/FAX	0263-37-3527 / 0263-37-3049	E-mail	ken-sui@shinshu-u.ac.jp
資本金(百万円)	設立年月日	売上(百万円)	従業員数

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③医療分野参入(取引)実績 他